

第 10 回 奈井江町まちづくり町民委員会 議事録（要旨）

【日 時】平成 23 年 10 月 14 日（金） 午後 6 時 00 分～午後 7 時 30 分

【場 所】役場（大会議室）

【出席者】委員～10 名（欠席 5 名） 町～11 名

委員	中野忠雄	○	中村尚子	○	廣部健二	○	須崎正寿	×	山口俊哉	○
	鈴木孝一	×	太田裕治	○	伊藤由紀子	○	山 節子	○	横尾良昭	○
	川端 篤	×	森本由利江	○	佐々木勝幸	×	明石伸子	○	岩口直樹	×
町	北町長、三本副町長、岩口おもいやり課長、小澤健康ふれあい課長、鈴木教育次長 事務局：碓井課長、相澤係長、遠藤主事、星野主事、都築主事、高橋主事									

1 開 会

2 委員長あいさつ

今年は秋、天候不順で雨が多いなぁという感じで、9 月上旬に大雨が降り、内地では大きな被害が出たようです。奈井江町でもかなり雨が降ったのですが、大きな被害もなく、無事収穫を迎え、奈井江砂川においては豊作と言ってもいいのではないかと思いますという状況です。

また、米の味を決める要素にタンパクがあり、6.8%以下を低たんぱく米のおいしいお米ということで決めています、この比率が昨日現在で約 50%。平素は 25%いけばいいかなあということですから今、倍になっていますし、ゆめぴりかでは 56%ということで、去年も全道のトップでしたが、今年もトップになると思います。美味しいお米がとれましたので、皆さんにもぜひとも食べていただきたいと思います。

さて、我々町民委員会も実りを迎えた最終回ということになります。報告書ができていますので、皆さんの忌憚のないご意見をいただいて決定をみたいと思いますので、よろしくお願いします。

3 町政運営等に関する主な動向について【資料 1】（北町長より）

今年は農業において、水稻が質量共に予想以上に良く、病気などの被害もなく、秋を迎えることができました。

さて、9 月 14 日に開催された、第 3 回 定例町議会で、仮称ですが、地域活性化ホール建設に関する基本構想の策定 委託料 3,150 千円を計上し、議決をいただいたので、この経過と基本的な考え方について、説明をさせていただきたいと思います。

昨年の町長選挙における公約として、「町民全体で、連携・支え合う高齢者対策」の推進を掲げ、本年 3 月の、議会における総括質問においても、「商工会や JA 新砂川との連携しながら、可能なものは、随時、実行していきたい」と答弁をしてきました。6 月 14 日に高齢者支援ネットワーク懇話会を立ち上げ、高齢者問題について、行政と民間業者、そして地域が協力し、支えていくための、大きな視点を持った町の方向性について、議論をしてきました。そのなかで大きな課題として、『高齢者が孤独感を感じている』『買い物難民対策』など、奈井江町に照らし合わせた対応の必要性について、強く感じてきたところです。

また、この検討を進める中では、JA 新砂川において、A コープ奈井江店の 店舗の建て替えを模索する一方で、空知太店の閉店などもあり、奈井江店のあり方も議論になっていると伺っ

ています。このような情勢を考えたとき、町の核となる店舗の議論に危機感を感じ、その対応策として、行政としても何らかの中心地域の検討が必要と感じたところです。そこで、9月10日の新聞報道等で、すでにご案内かと存じますが、高齢者を始め若い人たちも集い、交流できる地域活性化ホールの建設に関する基本構想を策定することにした次第です。

JA新砂川・杉本組合長と協議をし、JA内部の了解を得て、奈井江店の店舗裏の倉庫群の用地を利用して、どんな活用ができるのか“絵を描くこと”にしましたが、決してJAを助成するというのではなく、『高齢者に対する支援や健康づくり』『若い年代の人たちも利用できる施設のあり方』など、『商工会との連携も深めながら、町の活性化が図られる地域コミュニティの拠点』として、町民生活に寄与する施設の在り方を検討してみたいと言うものであります。

基本構想の策定に当たっては、第3期でお集まりをいただく町民委員会や高齢者支援ネットワーク懇話会の委員にご参加をいただき、十分な意見交換を行いながら、来年度予算に間に合うよう年内に構想を立て、実施設計、建設が可能となるように検討を進めていきたいと考えています。

高齢者支援ネットワーク懇話会の中で、「気軽に出かけられて、誰かに会え、サロンのようなお茶を飲んで話ができる場所が必要」というご意見がありましたが、こういったことを参考にしながら、まずは基本構想の素案を作り、改めて両委員会でご意見をいただきながら素案を練り上げ、より良い基本構想にしていきたいと考えておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

(中野委員長) ここで何かご質問ありますか。

質問なし

ご質問がないようですので、議題に入りたいと思います。

4 議 題

(1) 活動報告書の作成について【資料2、3】

相澤係長より：意見交換時以降、町で取り組んで事業について加筆したほか、軽微な文言の訂正について説明

質問なし

(委員長) 質疑がないようですので、この原案で第2期まちづくり町民委員会の活動報告書とさせていただきます。

(2) 子育て支援策について【資料4】

相澤係長より：今後、検討したらいいという子育て支援策のアイデアがあれば、意見を出してくださいと説明

(委員長) 子育て支援について、最後に皆さんのからこのようにしたらいいのではというご意見はありませんか。

(町長) 今日、私のところに匿名で手紙が来ていまして、町政を褒め称えることも書いてあったのですが、子育て中のお母さんから給食費の無料化について書いてありました。三笠市で無料化を行ったのですが、新聞報道にも出ましたからね。奈井江町としても就学援助や医療費の中学生までの無料化について取り組みを行ってきました。みなさんから率直なご意見をいただければと思います。
また、できれば手紙も匿名ではなく住所・名前を記入していただければ、対話ができ町としても子育て支援を前進させることをみんなで考えることができます。

- (委員) 自分も働きながら子育てをしてきて、やはり母親一人では子育てはできないのが実態ですね。保育所も新しくなりましたが、例えば、子どもが病気になった時どうしようとかは思いますよね。子どもが具合悪くても誰かお手伝いしてくれる方がいれば安心ですね。保育所では預けることができないと思うのですが、民間の関わりなど他に支援策など他のまちではどうなのかと思います。
- (委員長) 子育て支援センターを柔軟に活用できないでしょうか。
- (委員) マチの人口を増やすということと関わっての子育て支援ということで、保育所の時間を長くしているというのは、ひとつの売りになるのではないのでしょうか。近隣のマチの保育所が何時まで預けられるのか分かりませんが、そこと比べて見劣りしないものであれば、若い方々にも奈井江町に住んでみませんかというアピールもできたらいいのではと思いますよね。
- あと、ホームページに載せている定住情報については、お問い合わせはきているのでしょうか。
- (碓井課長) 何年前に商工会とか企業の方に集まってもらい、奈井江町には不動産屋がないということで、町として色々な情報提供できればと、『土地や家屋を持っているが奈井江町に住んでいなく処分をしたい』という方からの不動産情報を載せています。その他に、アパート空き室情報も載せています。アパートの空き室情報はインターネットのこの時代ですので、ご活用いただいています。土地については、全てきれいに造成されている訳ではありませんが、若干ではありますが、売れています。すぐに結果に結びつくということにはなりません、これから需要と供給の部分がマッチングするように数が増えていけばと思います。
- (委員) 私はその時に委員をやっていました。砂川市に問い合わせをしたところ、空き家情報を教えてくれたんですね、そこで、「奈井江町にはないのですか」ということで意見させていただきました。
- (碓井課長) 町の職員も、採用するにあたって町外から来る人も必ずホームページを見て、アパート情報を見てきますね。住電さんも寮を建設いただいているのですが、異動の時期などには役立てていただければと思います。
- (委員) 企業として子育て支援を積極的に行いたいということで、民間の託児所『手つなぎ』に見学に行きましたが、預かっている子供が若干名なのですね。住電ではこの『手つなぎ』に月極めの場合は、通常 3 万円の利用料のうち 25%補助、一時保育の場合は 50%補助するということにしました。この半年で 2 回の利用でそれなりに活用されたのかなと思います。民間だから気軽に制度をつくれると思います。これが公的な保育所だったら、なかなかこうはできないですね。町が補助を出せるかどうかは分かりませんが、子育て支援として住電としてはこのような取り組みをさせていただきました。
- インフルエンザの予防接種の時期なのですが、去年は子どもの料金が無料でしたよね。今年は有料になっていました。去年の無料化は他の町にはない制度だったので良い制度だと思っていましたが。
- (小澤事務長) 昨年度は新型インフルエンザに対する国の補助があり、それを活用した上で、町民税非課税の方、高校生以下の方、妊婦の方、65 歳以上の方については無料としていました。予防接種法の改正により、新型インフルエンザが季節性インフルエンザと一緒に、国の補助がなくなったことによる財源的なものもあり、

昨年同様の無料化はなくなりましたが、町として独自予算で1回あたり 1,000 円を補助するという事で継続させていただいています。

(委員長) 保育士の資格を持った方が自分の家庭でお子さんをみる、という取り組みをテレビでみたのですが、町内には保育士資格を持った方ができないのかと思います。

(岩口課長) それは、保育士の資格を持って施設など一定の基準を満たしていれば、自宅のみという通称「保育ママ」という事業です。奈井江町では保育士の資格を持った方の調査をしたことはありませんが、そのような方はまだいないようです。

(委員) 保育ママに預けるにしても、お母さんたちが預けることに対する対価をどれだけ払う気があるのかと思います。保育料も収入によって異なるのでしょうか、『手つなぎ』に預けるのも高いというお母さんもいます。どこまでが許容範囲なのか、ある程度マーケティングしないといけませんよね。

(北町長) 次回の委員の方にぜひ子育て中の母親にも入ってもらおうと思いますので、色々と意見をお伺いしたいと思います。今言われたとおり、真意がどこにあるのかをこちらも掴まないといけませんよね。

(委員) 子育てハンドブックを 250 冊作ったということで、住電に 50 冊いただいたのですが、必要な方にきちんと配布されているのでしょうか。

(岩口課長) 作ったのは 500 冊で、役場窓口のほか、保育所や幼稚園、支援センター、若い方が多い町内の企業にも配布させていただいています。

(委員) 対象年齢の方には送付しているのですか。

(岩口課長) 保育所は全員へ、保健センターにも健診等の際に配っています。対象者にはほぼ行き渡っていると思います。

(3) 次期町民委員会のテーマについて

(碓井課長) 町民委員会では、その時々を捉えながら町政の進むべき方向などに貴重なご意見をいただきました。次期で大きな問題としては、小学校の統合が決定なりまして、奈井江小学校を利用することで、残った江南小学校の跡地の利用をどう進めていくかというのも課題の 1 つとなっています。

冒頭、町長から説明もありましたとおり、地域活性化ホール、資料 5 について若干、説明させていただきます。少子高齢、人口減少の中で、文化ホールや奈井江駅、新砂川農協に繋がる用地全体の中で、コミュニティ施設を作り活性化を図りたいということで、活用の例として商工会や農協など民間の発想もとり入れ、若い方や高齢者の買い物の際にも気軽にご利用いただいたり、奈井江町にはない冠婚葬祭、特に葬儀場の会場に活用できないかなど、中心地としての利便性を活かして健康づくりとか教育文化に活用できないかということで、色々な方のご意見をいただきながら現在、計画を進めています。資料の青い線で括った農協、駅、文化ホールで、これらを有機的に繋げてマチの中心地の活性化を図るため、赤い線で括ったエリアを活用して施設を建設したいという考えです。計画を策定するなかで、町民の皆さんにご意見をいただいきいていと思っています。

(委員長) 次期町民委員会のテーマについてと本日最後の委員会ですので、3 年間を振り返っての感想など、お一人ずついただければと思います。

(委員) 民生委員をしていますので、高齢者の買い物のこととか、仲間とお話をしているのですが、ホールができるという話を聞いて良かったと感じています。以前は商店街の空き店舗を利用して高齢者の方がお話ししたり、お茶を飲んだり、バス待つ

間の時間にでも休憩所のようなものがあればいいね、と話もでていました。

- (委員) 新たな課題で地域活性化ホールということで、新聞にも出ていまして、とても興味があります。活用例を見ると内容が盛りだくさんで、物理的な制約がある中での絞れるのかと思っています。あと、近くにある文化ホールと公民館との兼ね合いとか。1つ気になるのが、冠婚葬祭の葬の部分が入ってくると、利用しづらいかなとか思ったりもします。

あと、岩沼市に職員が派遣されて、その後広報に載るかなと思っていたのですが、被災地で得たものをフィードバックして今の奈井江町に生かせるのかということとを報告いただければと思っているのですが。

- (北町長) 地域活性化ホールのことで、まず基本となる絵を描いてもらい、それを基に議論を深めていこうと考えています。Aコープが農協経営の足を引っ張っているということで撤退するのでは、という懸念もありましたが、これだけ過疎化しているなかで、駅前を中心にどのように活性化をしていくか、多面的に利用できるようにしていきたいと思っています。葬儀場の話もでしたが、奈井江町で亡くなる方が年間80名から100名ほどいらっしゃいます。その7割から8割が、町外の葬祭場に行ってしまう、多くの人が身近なところで何故できないのかという声があります。

- (碓井課長) 宮城県岩沼市の派遣の関係ですが、皆さんも新聞報道でご覧になった方もいらっしゃると思いますが、介護保険の関係で全国的に組織されている福祉自治体ユニットという団体に奈井江町が加盟しており、8月2日から9月9日まで11名の職員が行ってきました。当初はこれで終わる予定で、そこで集約をと考えていたのですが、追加で岩沼市の方から、10月以降もご支援をいただけないかという依頼をいただきました。そこで、第2期目として10月2日から12月末まで派遣する計画となっています。全国各地から団体の関係で派遣職員が集まっているということで、それぞれ意見交換を含め、中身の濃いものになったであろうと思っています。1期目に行ったことの成果として、2期目の要請を受けたということで、非常に意義深く継続させていただいています。

私たちの支援の状況についても広報等を通じて広く町民の皆さんにお知らせできればと思います。

- (委員) 子育てについて、皆さんのお話を伺って大変勉強になりました。私も微力ながら交通安全の街頭啓発に立ち、小中学生の通学の安全確保に努めています。

地域活性化ホールについてですが、栗山町には駅とホールが一緒になっています。日高の浦河町では、駅前に大きなスーパーがあり、ホールがあり、市民会館があります。これから新たにホールを作るのであれば、そのような先進地が参考になるのではと思います。

- (委員) 地域活性化ホールについて、噂で聞いていたのですが、文化ホール向かいにも大きな建物を建設していますよね、そこに多目的ホールと書いていたのですが、あれは町で建設したものなのでしょうか。

- (相澤係長) 昔、茶木さんがあった場所ですよ。あれは『えいの里』という名前の高齢者の集合住宅で、建設主は札幌にあるケアアシストという介護保険関係の会社です。元々奈井江町にいた方で、ご縁があり奈井江町でも事業展開したいということで、12室くらいの部屋数と聞いてます。居室のほか、建物の中央に皆で集まってお

- 話をしたり、食事をしたりするスペースがありますので、それが多目的ホールというようになっていたのではと思います。あと1～2ヶ月で完成と聞いています。
- (委員) 子育て支援のことで、地域の方、先生方の支援で成長するのですが、もう少しお母さん、お父さんが頑張っていただければ、かわいい子どもたちのためになるのではないかと思います。
- (委員) 地域活性化ホールについて、私はとても期待しています。色々な意見を聞いていただき、今の時代にあった魅力あるものにしていただければと思います。
- 子育て支援については、先ほど住電さんの企業としての取り組みのお話をお伺いしました。奈井江町内には他にも色々な企業があると思いますので、子育てをしやすいように企業へのバックアップも期待したいと思います。
- (委員) 地域活性化ホールについては、自分たちが当事者になる可能性も大いにあるので、皆さんの意見を十分に聞きながら、行政とともに活性化の糸口を模索していかなければならないと感じはしています。
- 子育て支援センターについて、今は電子化で、若いお母さんたちはメールを使っていると思いますので、支援センターのアドレスを公開し、子育ての相談をメールでやりとりできるような体制づくりをしてはどうかと思います。
- あと、私は昔フィンランドに行かせていただき、教育や行政のことを勉強させていただきましたが、子育てというところは勉強してきませんでした。フィンランドは学力では世界一ですので、学ぶべき事はあるのかと思います。
- もう1つ、買い物難民対策については“足”が必要になってくると思います。そのためには、コミュニティバスのようなもので地域を回ってもらって、面白い運転手に運転させて、「今日は顔色がいいね」とか楽しい会話の中で、運転手ともコミュニティをとりながら買い物難民を防止するといった仕組みをぜひ作っていただき、商工会も含め、今後この地域の活性化を図っていただきたく、次期の委員さんに期待をしています。
- (委員) 住電のお話をさせていただきますと、昨年の4月から現在までの1年半の間に従業員が100名ほど増加し、どこから通勤しているのかという調査で奈井江町は、前回の調査で32%、今回は29%、砂川市は27%、滝川市は21%、美唄市は12%です。今後、奈井江町から通勤している人は、砂川市に抜かれるのかなという気はしています。どうしたらいいのか、我々も考えていますし、もちろん役場の方も考えていると思いますが、なかなか名案が浮かびません。企業が規模を拡張していくと、車の騒音など町民の皆さんからの理解を得られない部分も少しずつできています。奈井江町から住電に通勤しているということがもっと増えれば、町民の皆さんに認められるのではと思います。
- (北町長) 住電さんについては、これだけの短期間で拡張していただき、他に例がないと思います。ただ残念なのは、ほとんどが町外から通勤していらっしゃるということです。どのように定住対策を進めていくかということで、色々なことを行っているのですが、なかなか定着していません。これはひとつに商店街をはじめ、マチが寂しくなってきたということですね。
- (副町長) 13号線改修については、後期まちづくり計画の最終年度に予定していますが、できるだけ前倒しするように指示はしており、来年度からの計画ができないか、道にも申し入れをして協議をしています。住電さんを始め、関係企業の皆さんの

ご努力があって、信頼性を築いていただいていると思いますので、これから協働の中で、確立していかなければならないと思いますし、道路の整備とか町でできること、また企業さんは、子育て支援のことなど、それぞれの立場でできることをしっかりと議論して進めていきたいと思っています。

(委員) 私も高齢となり、町の認知症予防の講演とかを積極的に行っていただくとともにできるだけ参加しています。保健センターにある筋力トレーニングも段々と参加者が増えてきています。疾病の予防にも繋がり、トレーニングをすれば医療費は抑制に繋がります。これからも大いに PR して欲しいと思います。

先ほどの冠婚葬祭については、亡くなられる方は本当に多いんですね。周りに聞くと砂川市は遠い、最後のお別れですから行きたいという話も聞くものですから、大いにこのホールを活用できればいいと思います。

(委員) 子育て支援について、今の若いお母さんたちにどのようにサークルとかに来てもらうのが大変です。茶話会を開いても、打ち解けてきてくれないという感じはあるので、今後どのようにしたらということを検討したらいいと思います。

(委員長) 私たちのような年代でも、もっと上の世代の方も、パソコンの 1 つも使えないとダメだと思うんですね。みんなで勉強して、奈井江町のお年寄りみんなパソコンを使えるんだよというように、さっき話で出た買い物難民もパソコンで打ち込んで、お店にメールやファックスで注文できるというように色々な可能性があると思います。お年寄りのためのパソコン教室なんて行えばいいかなと思います。様々な世代で、何か 1 つでも新しいことにチャレンジできるような町になればいいと思います。

一通り皆さんのご意見、感想を伺いました。事務局でも記録していると思いますが、皆さんのご意見を参考に次期の町民委員会に繋がっていくものと思います。

6. 閉会（北町長より）

平成 17 年にまちづくり自治基本条例を定め、「町民参加と協働のまちづくりを推進する」として、このまちづくり町民委員会を設置しました。第 2 期においては、奈井江町第 5 期まちづくり計画後期実施計画の策定や子育て支援策など、町の重要施策について、3 年間に亘り、深く、幅広くご提言をいただきましたことを心から厚くお礼申し上げます。

活動報告もまとめていただきましたので、今後のまちづくりに活かしていきたいと思いますので、変わらぬご支援をお願いします。委員としての任期は今回で満了しますが、今後とも、町政の推進にご理解・ご協力をいただくよう、よろしくお願いします。

皆さん、ありがとうございました。